

[様式 9 - 1]

## 福祉サービス等第三者評価結果

## 総合評価

受診施設名	東山保育園	施設種別	保育所 (旧体系：)
評価機関名	社団法人 京都府保育協会		

平成 20 年 3 月 7 日

総 評	<p>東山保育園は、西舞鶴の自然豊かな環境の住宅地域内にあります。昭和26年3月に宗教法人を運営主体として認可、創設され、乳幼児の保育の場として児童の心身共に健やかな育成に取り組んでこられました。そして、平成6年に社会福祉法人の認可を得て現在に至っています。</p> <p>園内は清潔で明るく、建物も子どもに危険の無いよう角をとるなど創意工夫がみられます。子ども達も「遊びと自然の中で輝く子どもを育てる」という保育目標の下、のびのび、生き生きとした園生活を送っています。</p> <p>管理者は、近年、保護者の就労形態の多様化等に伴う断続的な保育ニーズに対応する特定保育事業に取り組み、京都府内で初めての特定保育施設「こころ」を開設して、地域の福祉や保育ニーズに積極的に応えようとする姿勢が伺えます。</p> <p>また、特定保育施設「こころ」は地域の人々のふれあいの場として利用されています。</p>
特に良かった点(※)	<p>子どもの健康管理、乳幼児期における食生活習慣の定着を目指し、食を通じて人間形成や、生きる力を身につけ育もうと、園内での野菜栽培など「食育」に対して積極的に取り組んでいます。</p> <p>子育て相談、援助、地域の子育て支援に関する情報の提供、「児童ふれあい事業」「保育体験」など次世代育成支援に向けて、地域の子育て力の向上に繋がるよう、子育ての拠点として、機能を発揮しています。</p> <p>トイレをいつも清潔にするなど環境整備、衛生管理に心がけています。</p>
特に改善が望まれる点(※)	<p>理念、基本方針に基づき、一人ひとりを大切に保育されていますが、個々の発達状況に配慮した指導計画や、定期的に指導計画の見直し、評価反省することにより、なお一層一人ひとりの子どもの理解や発達の援助ができ、保育の質の向上につながるでしょう。</p> <p>職員の教育や研修計画が整備されていますが、職員一人ひとりが研修計画を立て、研修などを通して保育の専門性を高めることにより、保育園全体の保育の質もさらに高まるでしょう。</p>

※それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

# 京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

---

## 【共通評価基準】

# 評価結果対比シート

---

受診施設名	社会福祉法人東山福祉会 東山保育園
施設種別	保育所
評価機関名	財団法人 京都府保育協会
訪問調査日	平成20年3月7日

## I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
I-1 理念・基本方針	I-1-(1) 理念、基本方針が確立されている。	① 理念が明文化されている。	A	A
		② 理念に基づく基本方針が明文化されている。	A	A
	I-1-(2) 理念、基本方針が周知されている。	① 理念や基本方針が職員に周知されている。	B	B
		② 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	B	B
I-2 計画の策定	I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	① 中・長期計画が策定されている。	非該当	非該当
		② 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。 (当面の間、「事業計画」についてのみ評価を行う)	A	A
	I-2-(2) 計画が適切に策定されている。	① 計画の策定が組織的に行われている。 (当面の間、「事業計画」についてのみ評価を行う)	A	A
		② 計画が職員や利用者に周知されている。	A	A
I-3 管理者の責任とリーダーシップ	I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。	① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	B	B
		② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	B	B
	I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	B	B
		② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	A	A

## 【自由記述欄】

・法人の理念「子ども一人ひとりを尊重する児童の最善の権利」と保育目標「遊びと自然の中で輝く子ども社会を育てる」は、玄関に掲げられ、園を訪れる人々の目に留まるようになっていました。その他の周知方法として、保護者に対しては、入園式で説明するとともに資料の配付を行っています。地域に向けては、町内の回覧板や敬老会で、保育園の活動紹介と併せて資料を配付する取り組みを実施しています。職員に対しても同様の資料を配付し、理念・基本方針の周知を図っています。

・事業計画は管理者が策定を行い、年度当初の会議の場で職員から意見を聴取し、見直しを行った上で作成しています。

保護者には入園式で説明しています。

・管理者は、京都市下で初めての取り組みである特定施設「こころ」の開設や業務省力化に向けた機器の導入など、リーダーシップを発揮しています。自らの役割と責任について、職員に説明されると尚良いでしょう。

## II 組織の運営管理

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
II-1 経営状況の把握	II-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	A	A
		② 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。	非該当	非該当
		③ 外部監査が実施されている。	非該当	非該当
II-2 人材の確保・養成	II-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。	① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	A	A
		② 人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	B	B
	II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	B	B
		② 福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。	A	A
	II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	A	A
		② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	B	B
		③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	B	B
	II-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。	① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	A	A
② 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。		A	A	
II-3 安全管理	II-3-(1) 利用者の安全を確保するための取り組みが行われている。	① 緊急時(事故、感染症の発生時など)の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	A	B
		② 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	A	B
II-4 地域との交流と連携	II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	① 利用者地域とのかかわりを大切にしている。	B	A
		② 事業所が有する機能を地域に還元している。	B	A
		③ ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	A	A
	II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。	① 必要な社会資源を明確にしている。	A	A
		② 関係機関等との連携が適切に行われている。	B	B
	II-4-(3) 地域の福祉向上のための取り組みを行っている。	① 地域の福祉ニーズを把握している。	A	A
② 地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。		A	A	

## 【自由記述欄】

- ・地域の福祉ニーズや保育ニーズの動向については、研修会や勉強会に参加し、把握しています。入手した情報は会議の場で職員にフィードバックしています。
- ・現在、人事考課は園独自の判断基準によって実施されていますが、将来的には客観的な判断基準に基づき実施されると良いでしょう。
- ・保育サービスの質の向上のため人員体制は整備されていますが、職員の意向、意見を取り入れ、相談しやすい環境を整えると尚良いでしょう。
- ・職員研修は、職員一人ひとりに合わせて研修計画を策定し、評価・反省を行いながら取り組まれるとよいでしょう。
- ・実習生の受け入れについて、意義や方針がマニュアルで明文化され、職員間での実習生受け入れの統一が図られています。
- ・安全管理のため予防やマニュアルが整備されています。事故防止のチェックリストも活用しています。ヒヤリハットの報告書や事故記録を作成・活用されると良いでしょう。
- ・特定保育施設「こころ」1階を地域に開放し、地域の福祉、子育ての拠点として地域に還元しています。

## Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果		
			自己評価	第三者評価	
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-1 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	① 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取り組みを行っている。	A	A	
		② 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	A	A	
	Ⅲ-1-2 利用者満足の向上に努めている。	① 利用者満足の向上に意図した仕組みを整備している。	B	B	
		② 利用者満足の向上に向けた取り組みを行っている。	B	B	
	Ⅲ-1-3 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	① 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	B	A	
		② 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	A	A	
		③ 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	B	B	
	Ⅲ-2 サービスの質の確保	Ⅲ-2-1 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。	① サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	B	B
			② 評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にしている。	B	B
③ 課題に対する改善策・改善計画を立て実施している。			B	B	
Ⅲ-2-2 個々のサービスの標準的な実施方法が確立している。		① 個々のサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	B	B	
		② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	B	B	
Ⅲ-2-3 サービス実施の記録が適切に行われている。		① 利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	A	B	
		② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	B	B	
		③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	B	B	
Ⅲ-3 サービスの開始・継続		Ⅲ-3-1 サービス提供の開始が適切に行われている。	① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	B	A
	② サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。		A	A	
	Ⅲ-3-2 サービスの継続性に配慮した対応が行われている。	① 事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	B	B	
Ⅲ-4 サービス実施計画の策定	Ⅲ-4-1 利用者のアセスメントが行われている。	① 定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	B	B	
		② 利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	A	B	
	Ⅲ-4-2 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。	① サービス実施計画を適切に策定している。	B	B	
		② 定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	B	B	

## 【自由記述欄】

・子どもの状態については、月毎に記録しています。配慮を要する子どもについては、個々の指導計画を立てると尚良いでしょう。

・利用者の意向調査として給食参観後のアンケートを基に検討会議が行われています。個人懇談会、クラス懇談は開催していませんが、乳児クラスでは参観中、保護者の方が自由に職員と話が出来る時間を設けています。個人懇談は保護者の申し出により対応しています。

・保護者が意見を述べやすいスペースとして、2階に相談室を設けており、相談の申し込みは相談箱、連絡ノートなど、いくつかの方法を用意しています。

・苦情の申し出があればマニュアルに則り、迅速に対応する仕組みが整備されています。記録も残されています。

# 京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

---

## 【付加基準】 評価結果対比シート 保育所

---

受診施設名	東山保育園
施設種別	保育所
評価機関名	社団法人 京都府保育協会
訪問調査日	平成20年3月7日

## 【付加基準】保育所版 評価結果対比シート

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
A-1 子どもの発達援助	(1)発達援助の基本	① 保育計画が保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている	A	A
		② 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している	A	B
	(2)健康管理・食事	① 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している	A	A
		② 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		③ 歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		④ 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している	非該当	非該当
		⑤ 食事を楽しむことができる工夫をしている	B	A
		⑥ 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている	B	A
		⑦ 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している	A	A
		⑧ アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行なっている	A	A

## 【自由記述欄】

- ・保育計画は保育の基本方針に基づいて作成されています。特定保育”こころ”は地域の実情に即した施設です。
- ・指導計画は評価・反省を活かした計画への改善が望まれます。
- ・子どもの健康管理は、マニュアルに基づき実施され、健康診断の結果は保護者・全職員に周知されています。
- ・給食の献立は、子どもの喫食状況を把握し、園内で子ども達が育てた野菜を使うなど、職員会議の中で話し合っ作成されています。
- ・保護者を対象に給食試食会が行われ、アンケート調査の結果も献立に反映されています。
- ・アレルギー疾患を持つ子どもに対して、調理の工夫がみられました。

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
A-1 子どもの発達援助	(3)保育環境	① 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している	A	A
		② 生活の場に相応しい環境とする取り組みを行なっている	B	A
	(4)保育内容	① 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている	A	B
		② 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している	A	A
		③ 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている	A	A
		④ 身近な自然や社会とかかわれるような取り組みがなされている	A	A
		⑤ さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている	B	A

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
A-1 子どもの発達援助		⑥ 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している	A	A
		⑦ 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している	B	A
		⑧ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けられないよう配慮している	A	A
		⑨ 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	A	A
		⑩ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	A	B
		⑪ 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる	非該当	非該当

## 【自由記述欄】

- ・戸外では緑も多く自然とふれあうことが十分に楽しめる環境が整備され、畑仕事の経験も数多く取り入れた保育がされています。
- ・室内では風通しや日当たりもよく、心地よく過ごす子どもたちの姿が見られます。
- ・乳児室では熱帯魚の水槽が子どもの目線に設置されるなどの工夫がみられます。
- ・和太鼓等にも熱心に取り組み、地域に出かけ、それを披露することで関わりを広げる努力がされています。
- ・3～5歳児の縦割り保育によって人間関係の育ちにも配慮されていますが、指導計画に一人ひとりへの配慮事項の記載がなく今後の改善が望まれます。また、長時間保育についても子ども一人ひとりに対する保育内容の検討をされることが望まれます。
- ・現在障害児保育は実施されていませんが、受け入れに向けての環境整備が進められています。

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
A-2 子育て支援	(1)入所児童の保護者の育児支援	① 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行なっている	B	B
		② 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている	A	A
		③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている	B	B
		④ 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている	A	A
		⑤ 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている	A	A
	(2)一時保育	① 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている	B	A
A-3 安全・事故防止	(1)安全・事故防止	① 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている	A	A
		② 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている	A	A
		③ 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている	非該当	非該当
		④ 事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	非該当	非該当
		⑤ 不審者の侵入などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	非該当	非該当

## 【自由記述欄】

- ・えんだより・クラスだより・毎日の連絡帳などで、園での様子や様々な情報交換が行われています。
- ・申し出による個人懇談は行っていますが、今後、個別懇談やクラス懇談会などの実施を検討され、子どもの発達や育児について保護者と共通理解を図る機会を設定されることが望まれます。
- ・特定保育”こころ”の様々な取り組みから地域への熱い思いが伺えます。
- ・虐待・食中毒に関するマニュアルが整備され、体制は整っています。